

令和6年度（2024年度）第3回東海市環境審議会 会議録

1 会議名

令和6年度（2024年度）第3回東海市環境審議会

2 日時

令和7年（2025年）1月27日（月）

午後1時30分から午後2時05分まで

3 場所

東海市役所 501会議室

4 出席者

(1) 環境審議会委員（15名）

福井弘道（会長）、澤木眞（副会長）、久野辰男、毛利まり子、北村秀行、山下妃呂巳、大木孝二、佐藤雅之、小野久仁陸、松村実、久野兼幸、山口純、高井賢治、神野妃代、武富時満

(2) 市長

第3次東海市環境基本計画の答申後に公務のため途中退席

(3) 事務局（8人）

小笠原環境経済部長、河田環境経済部次長兼生活環境課長、櫛田ゼロカーボン戦略室長、野々部生活環境課統括主任、井上生活環境課統括主任、中平生活環境課主任、株式会社地域計画建築研究所2名

5 環境審議会委員欠席者（4名）

大橋直子、越智亮、青木均、高下秀一

6 公開・非公開の別

公開

7 傍聴者

なし

8 会議内容

(1) 会長挨拶

地球温暖化が待ったなしの状態であり、様々な自然災害が激甚化している。東

海市においても、自然と人間の共生を図りながら進めていくことが求められており、自然と人間両方のウェルビーイングが重要となっている。トランプ政権の発足によるアメリカのパリ協定やWHOからの離脱など、世界情勢が変化しつつある中で、改めて地域から環境を考えていくことが重要となっている。

(2) 市長挨拶

本日はお忙しい中、環境審議会にご出席いただき、また、日頃から市政全般にわたりご支援いただきありがとうございます。また、本審議会においては、第3次東海市環境基本計画について熱心にご議論をいただきありがとうございます。

先ほど福井会長から、地球温暖化対策が喫緊の課題であるとのご挨拶をいただきましたが、東海市としても、地球温暖化対策には今後しっかり取り組んでいきたいと考えています。本市では、令和4年（2022年）3月1日にゼロカーボンシティ宣言を表明し、3月1日を「東海市ゼロカーボンの日」として、市民のみなさんへの啓発活動を行っており、このたび、市民や事業者のみなさんに身近なところから対策に取り組んでいただけるよう、「地球温暖化対策ガイドブックガイドブック」を作成しました。今後もオール東海で取り組んでいきたいと考えており、引き続きみなさまからのご協力をお願いしたいと思います。

(3) 議題 第3次東海市環境基本計画について（答申）

ア 事務局より説明【資料1】

委員からの意見等は特になし

イ 福井会長から市長に答申を実施

(4) その他

ア 委員からの全体に係る意見など

委員：前回質問させていただいた「高圧」「低圧動力」「低圧電灯」の説明について、回答をお願いしたい。

事務局：「高圧」は契約電力が50kW以上、「低圧動力」は契約電力が50kW未満で供給電圧が200V以上、「低圧電灯」は契約電力が50kW未満で供給電圧が100Vとなる。

イ 情報提供

(ア) エコレコあいちについて

委員：本日配布した「エコレコあいち」は、「命をつなぐプロジェクト」が発行しているフリーペーパーである。「命をつなぐプロジェクト」は、COP10の直後に発足し15年ほど活動している企業・地域の学生・自治体等の連携によるプロジェクトであり、これまで単体ごとに管理されていた企業緑地を全体で1つのものとして捉え、企業緑地全体で質の向上や生態系ネットワークの構築を目指している。このたび「緑の都市賞 内閣総理大臣賞」を受賞し、社会的評価も高い取組である。学生が主体的に動き、トライ＆エラーで新しいことに挑戦している。

今回、新たにどんぐりとメダカの里親制度を始める。どんぐりは、市民に企業緑地で採取したどんぐりの里親になってもらい2年間苗を育成し、企業緑地や在来種を増やしたい方々に還元していく。メダカについては、企業緑地内のビオトープに生息するクロメダカについて、DNAの由来が定かでないところもあり遺伝子的にナイーブな問題もあるが、企業緑地や公園など閉鎖的な場所に限り、持ち帰ったクロメダカを家庭で繁殖し、他のビオトープなどに還元していく取組を始める。まずはこのような活動を通じて、市民の方々に生物多様性の存在や外来種・遺伝子問題に気づいてもらうことで、生物多様性への理解がより進んでいくとよいと考えている。

(イ) 東海市ゼロカーボンキャンペーンガイドブックについて

事務局：2025年2月1日から3月1日まで「東海市ゼロカーボンキャンペーン」として啓発を進めていく。その取組の1つとして、家庭でできる地球温暖化対策を記載した「地球温暖化対策ガイドブック(家庭編)」を作成している。「広報とうかい2月1日号」とともに各戸に配布させていただくのでご覧いただきたい。

(ウ) 環境審議会の任期について

来年度7月31日で現委員（市民公募委員を除く）の任期が満了する。団体推薦については、4月以降に団体に対して推薦依頼を行っていくことを予定している。